



2023年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月14日
東

上場会社名 株式会社Waqoo 上場取引所
 コード番号 4937 URL <https://waqoo.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 裕基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 近藤 成志 (TEL) 03-6805-4600
 四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	1,322	—	257	—	267	—	62	—
2022年9月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 62百万円(—%) 2022年9月期第3四半期 100百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	20.72	20.49
2022年9月期第3四半期	—	—

(注) 当社は、2022年9月期連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2022年9月期第3四半期の数値及び対前年同四半期増減率並びに2023年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	1,444	806	55.8
2022年9月期	1,563	742	47.5

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 806百万円 2022年9月期 742百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,791	△34.4	250	—	274	—	72	—	24.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	3,008,678株	2022年9月期	3,006,178株
② 期末自己株式数	2023年9月期3Q	一株	2022年9月期	一株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	3,006,223株	2022年9月期3Q	3,001,342株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和を受け、経済活動の正常化に向けて緩やかな回復が見られました。

その一方で、緊迫した世界情勢に加え、資源・エネルギー価格等の高騰、世界的な物価上昇並びに急激な為替変動など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループにおける主な取り組みとしては、SBCメディカルグループとの業務提携を通じた成長戦略を軸に、主力事業であるD2C事業並びに今後の当社グループを牽引するメディカルサポート事業のそれぞれが以下のセグメントの概況に記載のとおり、事業を推進してまいりました。

セグメントの概況は、次のとおりです。

(D2C事業)

当社グループの主力事業であるD2C事業におきましては、引き続き、ロイヤルカスタマーによる継続率が想定よりも上回って推移いたしました。

また、主力商品のクレンジングに続く同事業の第二の柱として育毛・発毛促進に特化した新ブランド「sodate1（ソダテル）」を立ち上げ、男女兼用の新感覚育毛剤「薬用炭酸ヘッドスパ育毛剤」を発売いたしました。

更には、利益率改善に向けて、配送料の見直し及び在庫回転率の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,219,411千円、セグメント利益は556,504千円となりました。

(メディカルサポート事業)

メディカルサポート事業におきましては、引き続き、全国の整形外科等に対して「血液由来加工療法（血液加工サービス）」の導入提案を積極的に展開し、提携医院数の獲得及び加工受託件数の増加に取り組んでまいりました。

また、同事業の組織強化を目的とした新規の人材採用を進めるとともに、再生医療領域において知見のある有識者の顧問登用を推進するなど、同事業の更なる強化・成長を促進してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は104,145千円、セグメント損失は27,810千円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,322,397千円、営業利益257,879千円、経常利益267,354千円、親会社株主に帰属する四半期純利益62,282千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は1,429,400千円となり、前連結会計年度末に比べ85,871千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加269,019千円、売掛金の減少121,676千円、商品の減少53,496千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は14,930千円となり、前連結会計年度末に比べ204,702千円の減少となりました。これは主に、貸倒引当金の増加200,000千円、減価償却による減少4,622千円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は468,082千円となり、前連結会計年度末に比べ86,895千円の減少となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の減少64,507千円、未払法人税等の減少28,893千円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は170,183千円となり、前連結会計年度末に比べ95,468千円の減少となりました。これは、長期借入金の減少95,468千円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は806,065千円となり、前連結会計年度末に比べ63,531千円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益62,282千円を計上した結果、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきましては、2022年11月18日付の「2022年9月期 決算短信」で公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日公表の「特別損失の計上及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	906,224	1,175,244
売掛金	246,946	125,270
商品	137,944	84,448
原材料及び貯蔵品	13,365	10,292
その他	39,047	34,144
流動資産合計	1,343,528	1,429,400
固定資産		
有形固定資産	497	329
無形固定資産	13,826	9,371
投資その他の資産		
長期貸付金	200,000	200,000
その他	5,310	5,230
貸倒引当金	—	△200,000
投資その他の資産合計	205,310	5,230
固定資産合計	219,633	14,930
資産合計	1,563,162	1,444,330
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,146	17,932
短期借入金	170,000	170,000
1年内返済予定の長期借入金	209,987	145,480
未払金	76,978	64,924
未払法人税等	32,247	3,354
その他	56,618	66,391
流動負債合計	554,977	468,082
固定負債		
長期借入金	265,651	170,183
固定負債合計	265,651	170,183
負債合計	820,628	638,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	572,064	50,625
資本剰余金	564,064	1,086,753
利益剰余金	△393,652	△331,369
株主資本合計	742,476	806,009
新株予約権	57	56
純資産合計	742,533	806,065
負債純資産合計	1,563,162	1,444,330

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	1,322,397
売上原価	307,143
売上総利益	1,015,253
販売費及び一般管理費	757,374
営業利益	257,879
営業外収益	
受取利息	1,171
償却債権取立益	11,100
雑収入	173
営業外収益合計	12,445
営業外費用	
支払利息	2,367
租税公課	602
営業外費用合計	2,970
経常利益	267,354
特別損失	
貸倒引当金繰入額	200,000
特別損失合計	200,000
税金等調整前四半期純利益	67,354
法人税、住民税及び事業税	5,072
法人税等合計	5,072
四半期純利益	62,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	62,282

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
(自 2022年10月1日
至 2023年6月30日)

四半期純利益	62,282
四半期包括利益	62,282
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	62,282

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年12月23日開催の第17期定時株主総会において、今後の当社の資本政策の柔軟性、機動性を向上させることを目的とする無償減資について決議し、当該決議について、2023年2月21日に効力が発生しております。

当第3四半期連結累計期間において、資本金が522,064千円、資本準備金が514,064千円減少し、その他資本剰余金が1,036,128千円増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における新株予約権の行使による増加と合わせて、当第3四半期連結会計期間末において、資本金は50,625千円、資本剰余金は1,086,753千円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	D2C事業	メディカル サポート事業	計		
売上高					
通販	1,186,046	—	1,186,046	—	1,186,046
その他	32,205	104,145	136,351	—	136,351
顧客との契約から生じる収益	1,218,252	104,145	1,322,397	—	1,322,397
外部顧客への売上高	1,218,252	104,145	1,322,397	—	1,322,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,159	—	1,159	△ 1,159	
計	1,219,411	104,145	1,323,556	△ 1,159	1,322,397
セグメント利益又は損失(△)	556,504	△ 27,810	528,694	△ 270,814	257,879

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△270,814千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。